

## 今度は戦後62年の時をめぐるツアー

### ～ Port B ツアー・パフォーマンス“サンシャイン62” ～

実際の都市をインスタレーション化する“ツアー・パフォーマンス”を企画し、これまでも巣鴨地蔵通りなどを舞台にした観客参加型の演劇を実施してきたPort B(ポルト・ビー)が、今度は池袋で時を巡るツアー「サンシャイン62」を企画した。本日が初日で5日間の公演。

サンシャイン60は巣鴨プリズン跡地に建てられた。いわば戦後日本の出発点であるサンシャイン60を眺めながら、1946年から2008年までの戦後62年間の巡る「時のツアー」だ。5人1組となって池袋の街を巡り、10数か所の訪問地各所では、巣鴨プリズンについてのインタビューや東京裁判に関する音源などを聴いたり、記憶や忘却ということについて論議したりする。最後に出発地のあうるすぽっとで、ツアーで見聞きしたドキュメント類をもとにバーチャルな世界“セカンドライブ”を使った大掛かりな仕掛けがある。参加者に各個人ならではの“戦後62年史”を紡いでもらおうというものだ。

「サンシャイン62」07/08 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ

日時：3月19日(水)～23日(日)5日間。出発時刻：11:00-15:30

1日8-9組/40-45名(30分おきに出発し約3時間半ほどの公演)

前売り料金一般：3,500円、学生：3,000円 当日料金一般4,000円、学生3,500円

会場：池袋周辺地域 及びあうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター)

主催：Port B(ポルト・ビー) 共催：(財)としま未来文化財団 後援：豊島区

当日の様子  
参加者の声  
など

Port B代表の高山明さんは、「池袋やこの近辺で活動をしてきて、以前からサンシャイン60や東京裁判などについて疑問を感じてきた。この企画は参加者に答えを出してもらうのではなく、考えるきっかけを作りたかった」と語る。

ツアーでは、目的地ごとに色々な手法の戦争体験談や朗読などが仕掛けられている。参加者は、サンシャイン60が写りこむように各地で写真を撮影し、最後に映像作品を作った。

参加者からは「旧中央図書館で聞いた話が印象的だった」「巣鴨プリズンの初代所長の話が興味深かった」「もっと勉強したい」など、パフォーマンスを通して様々な感想が聞かれた。

背景  
補足事項

\* このツアー・パフォーマンス「サンシャイン62」は、平成19年度文化庁芸術創造活動重点支援事業。

\* 今年4月、サンシャイン60は30周年を迎える。

写真  
\*写真はメールで送ります

東池袋中央公園の碑の前で



高山さん(右)がバーチャル世界を説明



問合せ

Port B(ポルト・ビー)

2008年2月

あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ portB ツアーパフォーマンス

## 『サンシャイン62』のご案内



『あうるすぽっと』は主催公演に加え“あうるすぽっとタイアップ公演”と題し、提携・共催公演を開催していくこととなりました。当シリーズは、各カンパニー・劇団等と協力することで、より多様で上質な舞台芸術の創造・発信、新しい才能の発掘・育成を目的として展開していくものです。

上半期のプログラムは、海外で高く評価されてきたカンパニーや、アーティストあらためて光をあて、その東京公演を上演するほか、文芸作品を新たな解釈で舞台化した作品、新進の作・演出家の新作、新しい演劇の形を提示するパフォーマンス企画など、注目のラインナップを取り揃えました。

この度はタイアップ公演のラインナップの中から、portB ツアーパフォーマンス『サンシャイン62』についてご案内をお送りいたします。

### 【2008年2月～6月 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ】

---

---

山崎清介の『チェーホフ短編集』	1/26 - 2/3
森山開次新作ソロ『The Velvet Suite』	2/28 - 3/2
劇団解体社『バイバイ-リフレクション-』	3/6 - 3/9
port B ツアーパフォーマンス『サンシャイン 62』	3/19 - 3/23
北九州芸術劇場プロデュース『青春の門 放浪篇』	3/28 - 3/30
M&O plays プロデュース『まどろみ』	5/15 - 5/25
劇団昴『ジュリアス・シーザー』	6/18 - 6/29

---

---

### 本リリースに関するお問い合わせ

あうるすぽっと(広報宣伝担当:小沼) Tel 03-5391-0751 Mail:konuma@owlspot.jp

東京都豊島区池袋4-5-2ライズアリーナビル2階 〒170-0013



あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)